

令和2年度における四條畷市市民総合センター及び四條畷市立公民館 の管理運営に対する評価票

所 管 課：教育委員会 公民館

評価対象：令和2年4月1日～令和3年3月31日

評価委員会開催日：令和3年8月26日

1 指定管理者

指定管理者	四條畷市ラーニングcommons
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年間）
施設概要	収容713人の市民ホールを中心とした市立図書館・市立公民館を含めた総合施設で、市民の福祉増進と文化教養に寄与するために39年前に設置され、市民の文化意識の向上と地域文化を図る活動の拠点としてまた地域住民にとって最も身近な学習拠点として利用されている。
指定管理料	41,800,000円（令和2年度）

2 管理運営の内容

項 目	令和2年度の状況
運営状況	<p>（1）平等利用の確保</p> <p>①利用者のために自主的に受付時間を21時まで延長した。また、市主催事業等においては、担当課と綿密な打ち合わせを実施し、事業に不要な施設を市民が利用できるよう調整した。</p> <p>②市民ホールの使用状況及び公民館空室状況を市民が閲覧できる場所に設置し、だれでも気軽に空室が確認できるようにした。</p> <p>（2）自主事業の展開</p> <p>①映画鑑賞会を開催し、市内で映画鑑賞ができる機会を提供した。</p> <p>②イクメン写真展やパープル&オレンジリボン啓発事業等を実施し、男女共同参画や暴力、児童虐待防止等の人権啓発に取り組んだ。</p> <p>③「くすのきマンスリーライブ」、「昭和の歌コンサート」等の自主事業を計29事業企画、うち20事業を開催した。</p> <p>④様々な市主催事業について、人的、物的支援を行ったほか、公民館利用団体と共催による「懐かしのアナログレコード再生」事業や四條畷市文化協会との共催事業を企画、実施した。</p> <p>（3）施設の情報提供</p> <p>①指定管理が設置したホームページにて市民ホールの空き状況や、自主事業についてきめ細かに掲載した。また、エントランスロビーのテレビモニターやデジタルサイネージで自主事業や市の事業のPR動画を放映したほか、館内掲示板を活用し、現在、どのような事業が行われているか容易にわかるように掲示を工夫した。</p> <p>（4）安全確保対策</p> <p>①定期巡回時の点検や適切な保守点検の実施、マニュアル等の整備を行った。</p>

維持管理状況	<p>(5) 保守点検</p> <p>①年間整備計画を策定し、日常の保守管理及び法令等で定められた定期点検を実施、不具合箇所の調査を行い、修繕計画を市担当課に提出した。補修、修繕が必要な箇所が発生した場合、専任の技術者が頻繁に対応し、適切かつ安価な修繕を心がけた。</p> <p>②市担当課と協議し、新型コロナウイルス感染症対策としての臨時休館期間を活用した施設整備を実施し、老朽化が進む建物や機器の整備、延命に努め、利用者が安全・安心して施設を利用できるよう修繕等を行った。</p> <p>(6) 清掃業務</p> <p>①日常清掃・定期清掃のほか、1日7回の定期巡回時にも良好な状態を保つように意識し注意を払った。</p> <p>(7) 警備業務</p> <p>①1日7回の定期館内巡回や防犯マニュアルに従い職員に防犯の意識づけを行ったほか、防犯カメラの増設を実施した。</p> <p>(8) 環境への配慮</p> <p>①ホール使用時の空調運転を季節ごとに対応し電力削減に努めるとともに、館内照明のLED化により省エネ効果を生み出した。</p>
利用状況	<p>【新型コロナウイルス感染症対策のため、4月1日から5月31日まで臨時休館、1月17日から3月2日まで18時以降の貸出を停止】</p> <p>前年度と比較し、市民ホールの利用状況は48件減少し78件の利用であった。利用の内訳は貸施設としての利用は42件、市関連の事業は36件であり、貸施設利用が34件の減少となった。また市外居住者の利用は12件減少し、3件であった。</p> <p>利用者数は6,571人で、昨年より25,189人減少している。</p> <p>曜日別に見ると土曜日、日曜日の利用割合は50.0%であり、土日の利用は全体の半数を占めた。全体の利用率は27.2%と昨年から減少となった。</p> <p>公民館の利用状況は、午前、午後、夜間のそれぞれを1枠とすると前年より1,994枠減少し、2,509枠の利用があった。また、利用者数は、23,659人で、前年度より47,107人減少している。</p> <p>部屋別利用率は、展示ホール：46.7% 視聴覚室：42.7% 音楽室：31.8% 実習室：26.0% 料理室：4.4% 相談室：6.5%等でギャラリー室を除き全体では27.9%の利用率であった。</p>
収支状況	<p>収支状況は、収入が52,686,870円、支出が53,070,977円で、決算額は384,107円の赤字決算となった。</p>

3 利用者へのアンケート調査

項 目	令和2年度の状況
調査の実施内容	<p>対象：施設利用者</p> <p>調査期間：令和3年2月1日から令和3年3月16日</p> <p>調査方法：施設利用者へ受付窓口で調査依頼、記入後、アンケートボックスへ投函してもらう形式で実施。</p> <p>回答件数：83件</p>
調査の結果	<p>施設利用の感想：「非常に使いやすい」、「まあまあ使いやすい」が86.7%</p> <p>職員の対応：「非常に満足している」、「満足している」が96.4%</p>
主な苦情・意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・設備が古いので改善して欲しい。 ・床・壁が美しくなって気持ちが良い。 ・展示ホールのワックスを滑らないものにして欲しいです。ダンスで利用する団体もあるので危険です。 ・W i F iを3階の会議室のどの部屋でも使用できるよう無線ルーターの増設をお願いします。 ・コロナ過の折、いつも以上に手間のかかる作業をしていただいております。今のままでいつまでも利用できると嬉しいです。元気

	<p>な高齢者はセンターの活動が大きくなっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在はコロナというウイルスのため色々とする事がありますが、気持ちよく利用させていただいています。 ・申込を3か月前にお願いします。 ・シニア向けの物が多い。
--	--

4 施設の評価

管理運営の総合評価	○5	●4	○3	○2	○1
講 評	<p>施設の管理方針に掲げた事項について、多大な努力が見受けられる。特にハード面については、従前より非常勤の技術職員が専門家の見地から修繕内容の見極めを行い、良好な修繕等を行っていることや、修繕計画を担当部局に提出し協議を行っている点、省エネ・環境負荷の低減を実現している点のほか、臨時休館期間を活用した施設改善を積極的に実施している点など、大いに評価できる。</p> <p>また、ソフト面についても、当初計画されていた事業のうち、新型コロナウイルス感染症対策として中止となった事業を除けば、おおむね実施されている。また、市の関係部署や市民活動団体との協働による事業の実施も継続して積極的に推進しており評価できる。加えて、窓口の受付時間延長や市主催事業における担当課の打ち合わせにより事業に不要な施設の開放を調整するなど、より多くの利用者に施設を利用してもらう取り組みも実施している。</p> <p>利用件数については、市民ホール・公民館ともに大幅に減少しているが、新型コロナウイルス感染症対策としての臨時休館や18時以降の貸出停止、利用者の活動自粛に起因するものが主な理由であると考えられる。今後については、引き続き市関係部署との連携のうえ、対応を検討されたい。</p> <p>予算収支では、今年度は384,107円の赤字となっている。新型コロナウイルス感染症の影響による使用料収入の減少に起因するものと考えられるが、一方で、臨時休館中の施設改善等、施設の質を低下させない管理運営に精力的に取り組んでおり、評価できる。</p> <p>以上の内容から「計画内容をやや上回るために努力している」と判断し、評価を「4」とする。</p>				

(参考) 評価の基準

- 5 計画内容を上回る（非常に満足できる）結果
- 4 計画内容をやや上回る（満足できる）結果
- 3 計画内容どおりの（妥当と判断する）結果
- 2 計画内容をやや下回る（不満が残る）結果
- 1 計画内容を下回る（非常に不満が残る）結果